



# 広島県内経済情勢報告

～広島県の経済情勢について～

令和 8 年 1 月 29 日  
財務省 中国財務局

【お問い合わせ先】  
中国財務局経済調査課  
電話 (082) 221-9221

## 1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

項 目	前回（7 年 10 月判断）	今回（8 年 1 月判断）	前回 比較
総括判断	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに回復しつつある	→

（注）8 年 1 月判断は、前回 7 年 10 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項 目	前回（7 年 10 月判断）	今回（8 年 1 月判断）	前回 比較
-----	----------------	---------------	----------

個人消費	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	→
生産活動	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	→
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	→

設備投資	7 年度は前年度を上回る見込み	7 年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	7 年度は減益見込み	7 年度は減益見込み	→
企業の 景況感	「下降」超幅が縮小している	「上昇」と「下降」が拮抗している	↔
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	→
輸出	前年を下回る	前年を上回る	↗

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、今後の物価動向、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

業態別にみると、ホームセンター販売は、南海トラフ地震臨時情報による防災用品需要の反動減などから、前年を下回っている。スーパー販売は、時短志向の継続などから冷凍食品や弁当などが好調で、前年を上回っている。家電大型専門店販売は、OS サポート終了に伴う買い替え需要によりパソコンなどが好調で、前年を上回っている。ドラッグストア販売は、大容量化による割安感から衣料用洗剤などが好調で、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、新車価格の値上がりによる買い替えサイクルの長期化などから、前年を下回っている。このように、個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- 南海トラフ地震臨時情報の影響の反動により防災用品が低調だったほか、電気カーペットなどの暖房器具は節約志向から買い替えを先延ばしにしている傾向が見られ動きが鈍かった。（ホームセンター）
- 近年のトレンドである中食需要・時短志向に加え、米価高騰による割安感から、冷凍食品や弁当が好調だった。また、10月中旬からの気温低下に伴い鍋物商材なども好調だった。（スーパー）
- OS サポート終了に伴う買い替え需要からパソコンが好調だったほか、気温低下に伴いエアコンも好調だった。（家電大型専門店）
- 物価上昇による消費者の節約志向が依然として高い中、衣料用洗剤などは大容量化の商品が増えており、割安感から好調だった。また、米は価格の高止まりが続いているにもかかわらず販売数量が伸びており好調だった。（ドラッグストア）
- 新車価格の値上がりによる買い替えサイクルの長期化や、一部メーカーにおける減産などの影響から、販売台数が減少している。（自動車販売）
- インバウンドの増加のほか、観光地でのイベント開催の効果等により観光客数は増加しており、旅行需要は引き続き旺盛。高価格帯の部屋も高い稼働率を維持している。（宿泊業）

### ■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

一般機械は、海外向けで需要が堅調であることなどから、増加している。輸送機械は、海外向けで一部車種の需要が堅調であることなどから、増加している。電気機械は、EV 向けなどの需要が低調であることなどから、減少している。プラスチック製品は、スマートフォン向けの需要が伸び悩んでいることなどから、減少している。鉄鋼は、建材向けの需要が低調であることなどから、減少している。このように、生産活動は、横ばいの状況にある。

- 欧州向けで、金利水準の高止まりによる需要の減退が続いていたものの、金利の低下とともに企業の設備投資意欲が高まっており、需要が回復傾向にあるため、生産量が増えている。（一般機械）
- 米国向けや欧州向けで一部車種の需要が堅調なことから、生産量が増加している。（輸送機械）
- EV 市場の成長鈍化を背景に EV 向けのパワー半導体の需要が低調なことから、生産量が減少している。（電気機械）
- 買い替えサイクルの長期化などにより、スマートフォン向けの需要が伸び悩んでいることから、生産量が減少している。（プラスチック製品）
- 人手不足や建設コストの上昇などを背景に建設需要の低迷が続いており、建材向け鋼材の需要が低調なことから、生産量が減少している。（鉄鋼）

### ■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は、緩やかに低下しているほか、新規求人数は、前年を下回っている。一方、法人企業景気予測調査（7 年 10-12 月期）の従業員数判断 BSI でみると、製造業・非製造業いずれにおいても前期に比べて「不足気味」超幅は拡大しており、人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にある。このように、雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

- 人手不足が続くなか、非正規雇用に加え、外国人労働者も採用対象に広げて人員確保に取り組んでいるが、採用には結びつかない状況であり、工場ラインの自動化による省人化を進めている。（輸送機械）
- 民間の人材紹介サービスを活用して求人募集を行っているが、採用難は続いており、スポットワークや外国人労働者の活用により、人手不足を補っているほか、セルフ決済を導入した店舗の出店も推進している。（小売）
- 人手不足が続くなか、人件費の負担に耐えられる企業は、賃金上昇に伴い即戦力となる経験者を求める傾向が見受けられ、求人広告から転職エージェントサービスへの移行など採用手法の多様化も進んでいる。（人材・職業紹介）

■ 設備投資 「7年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10-12月期

- 製造業では、「食料品」などで減少するものの、「自動車」、「その他製造」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「金融・保険」などで増加するものの、「電気・ガス・水道」、「運輸・郵便」などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。

- 中長期的な需要の増加を見込んでおり、新工場の建設を予定。(自動車)
- 前年度の発電関連の大型設備投資の反動により減少。(電気・ガス・水道)

■ 企業収益 「7年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10-12月期

- 製造業では、「その他製造」、「化学」などで増益となるものの、「自動車」、「生産用機械」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道」、「金融・保険」)では、「建設」、「不動産」などで増益となるものの、「情報通信」、「宿泊・飲食サービス」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』と『下降』が拮抗している」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10-12月期

- 企業の景況判断BSIは、「上昇」と「下降」が拮抗している。なお、先行きは「上昇」超となる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、貸家が増加しているものの、持家、分譲住宅などが減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を上回る」

- 輸出(円ベース)は、鉄鋼が減少しているものの、自動車、船舶などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アフリカで減少しているものの、アジア、西欧などで増加している。  
なお、輸入(円ベース)は、鉄鉱石、石炭などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では中南米、大洋州などで減少している。

# 広島県内経済情勢報告

(令和8年1月29日)

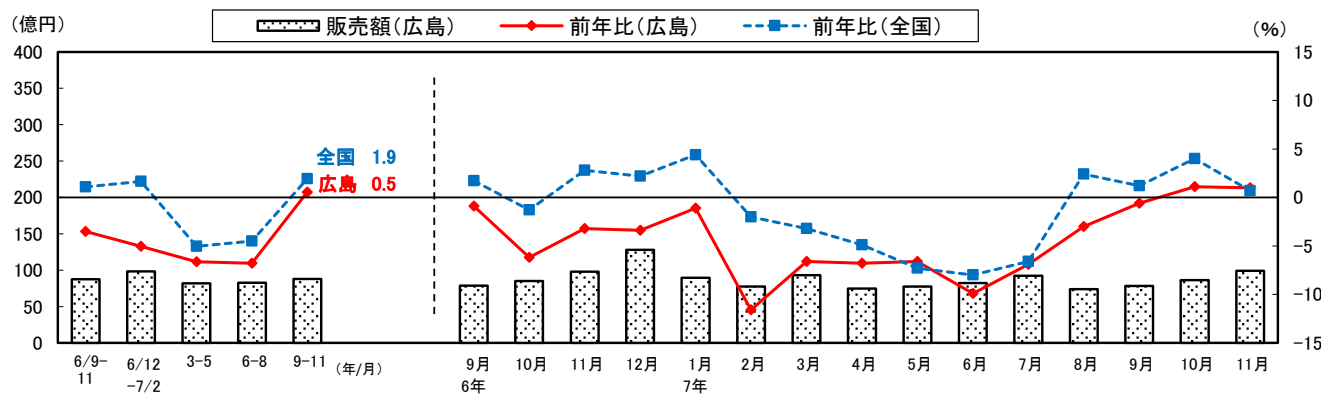
## 資料編

目次				ページ
1.	個	人	消 費	----- 1
2.	生	産	活 動	----- 3
3.	雇	用	情 勢	----- 4
4.	設	備	投 資	----- 5
5.	企	業	収 益	----- 5
6.	企 業 の	景 況	感	----- 6
7.	住 宅	建 設		----- 6
8.	輸		出	----- 7

# 1. 個人消費 一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある

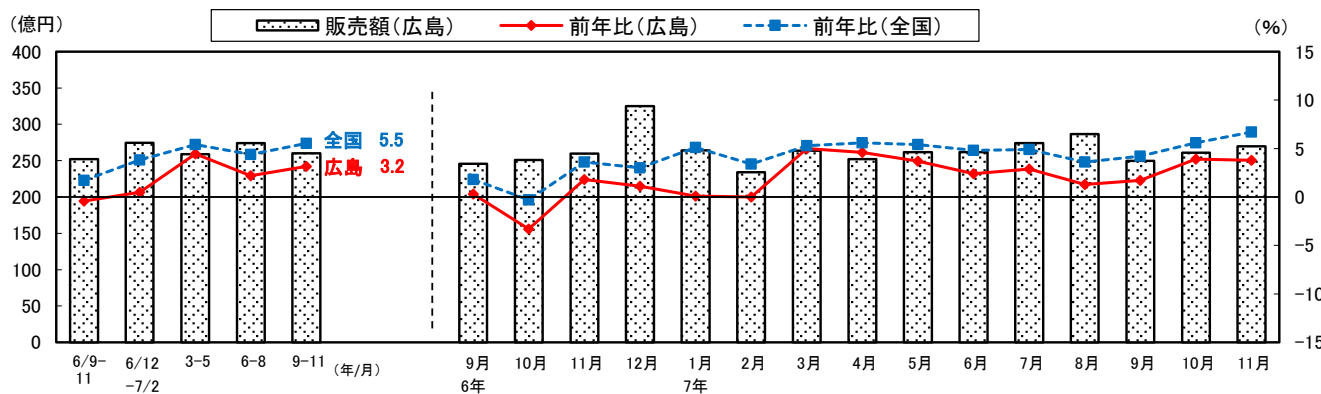
## (1) 百貨店販売額(全店舗)

(注) (1)～(6)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示



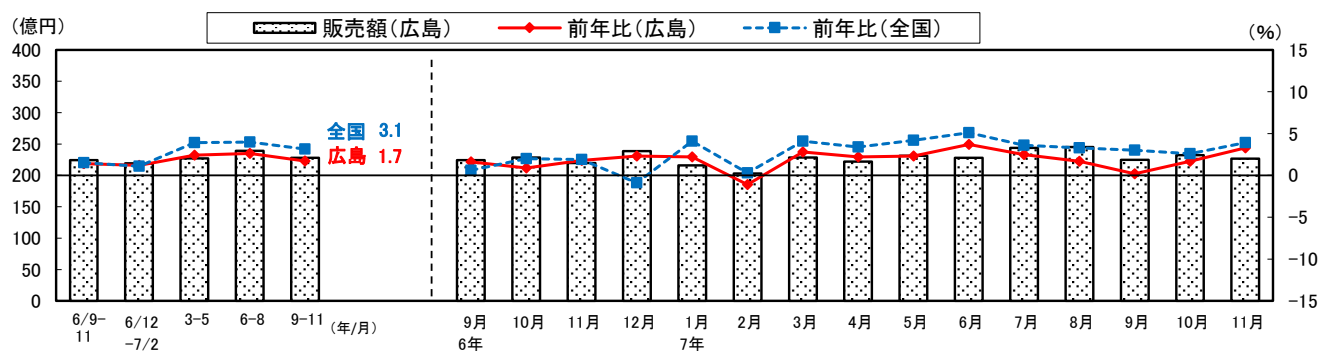
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

## (2) スーパー販売額(全店舗)



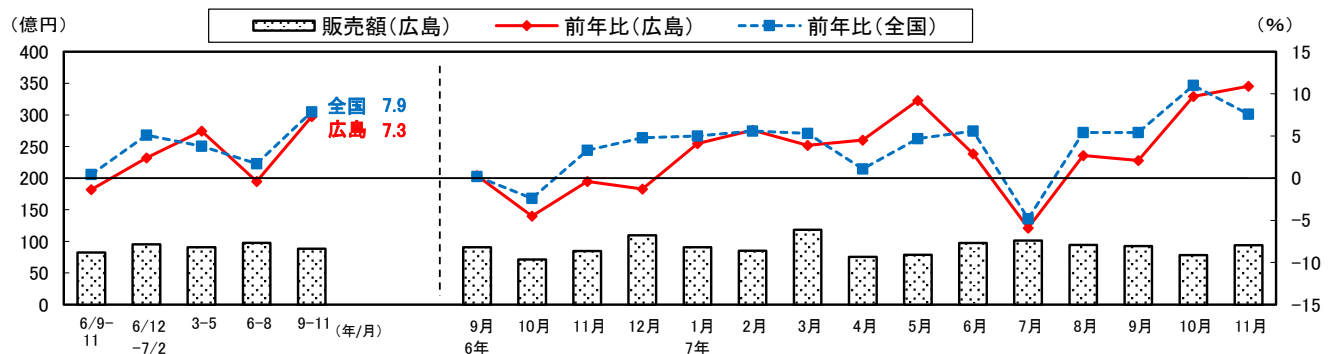
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

## (3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



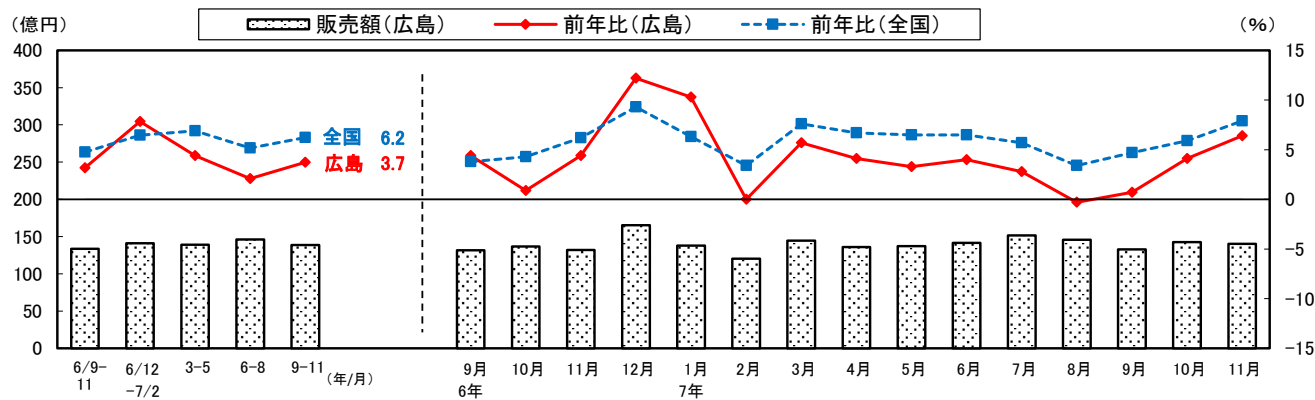
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

## (4) 家電大型専門店販売額(全店舗)



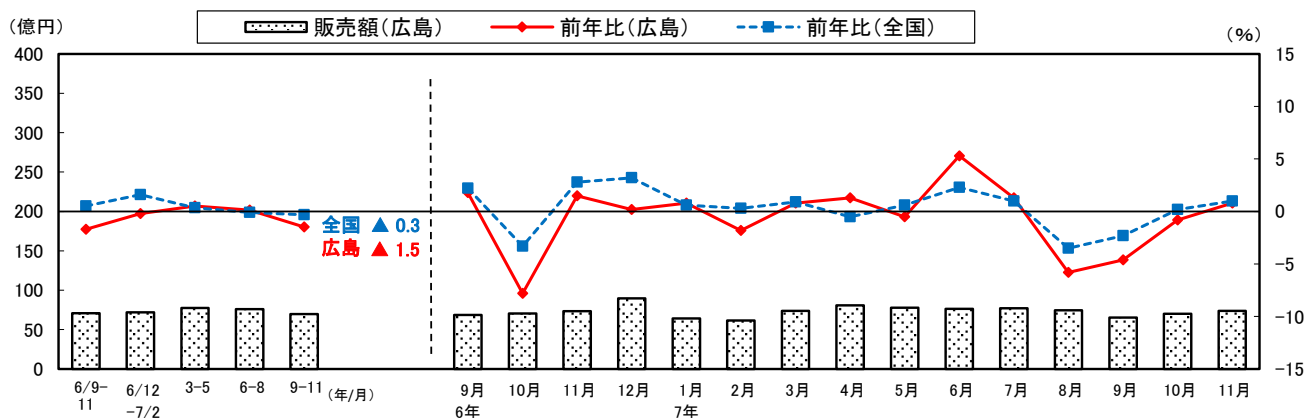
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

## (5) ドラッグストア販売額(全店舗)



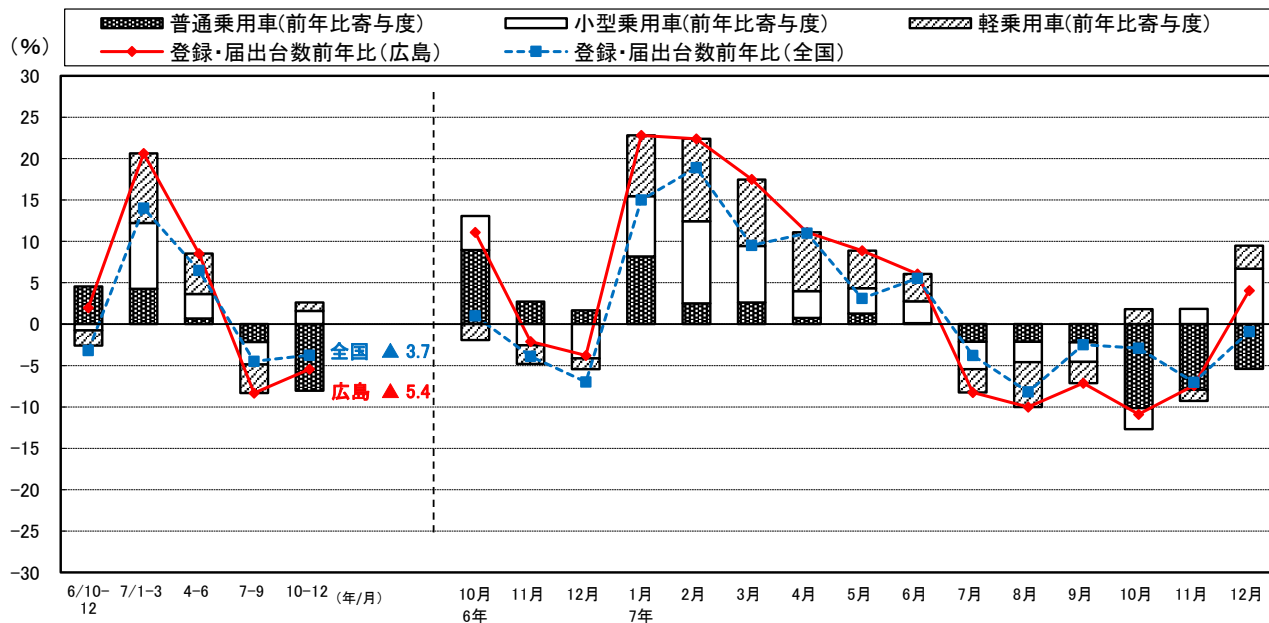
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

## (6) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

## (7) 乗用車販売(新車登録・届出台数)

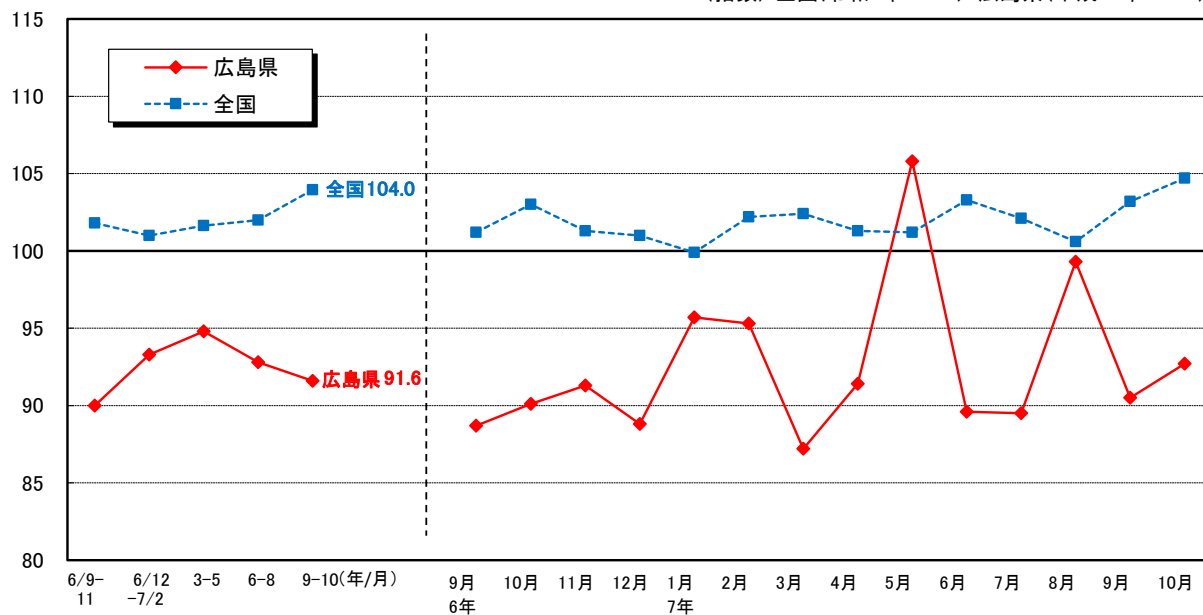


(資料出所:中国運輸局、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車販売協会)

## 2. 生産活動 横ばいの状況にある

### (1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

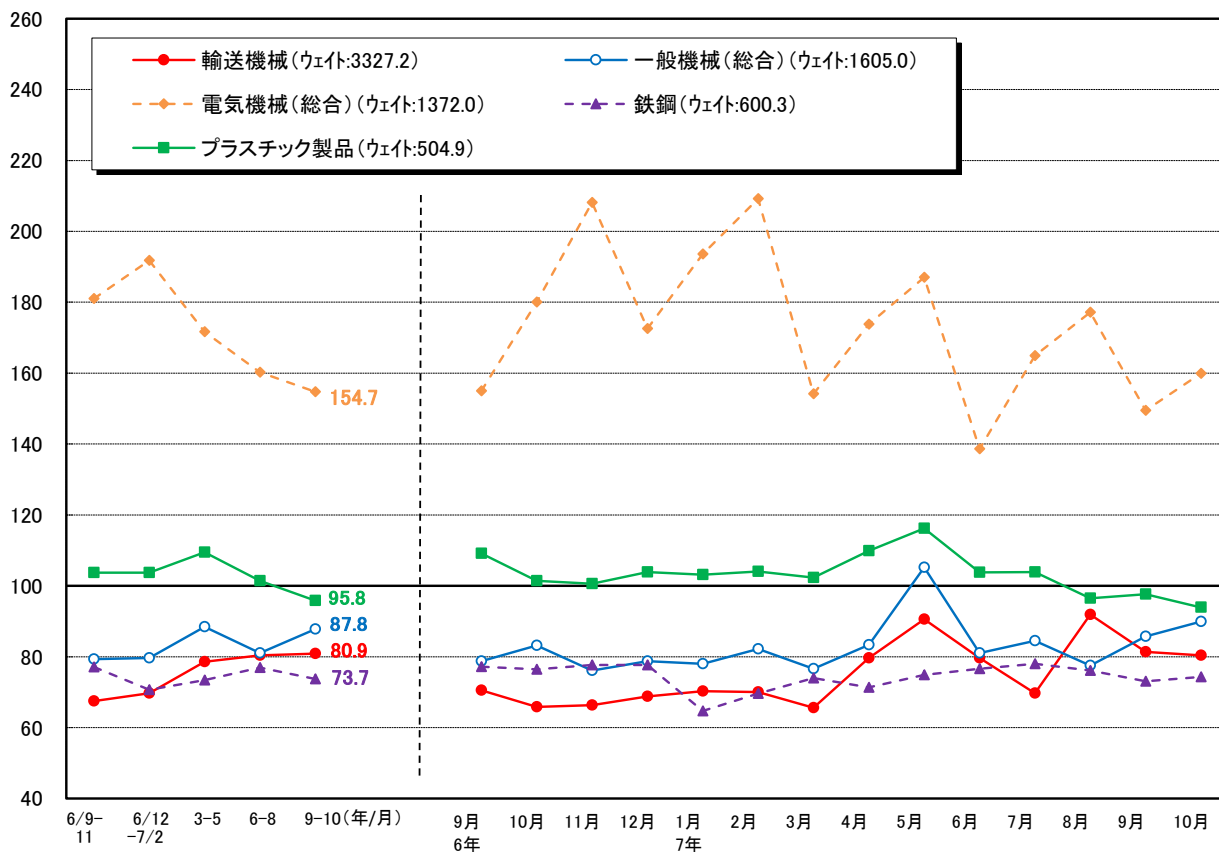
(指数) 全国(令和2年=100) 広島県(平成27年=100)



(資料出所: 経済産業省、広島県)

### (2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数) (平成27年=100)



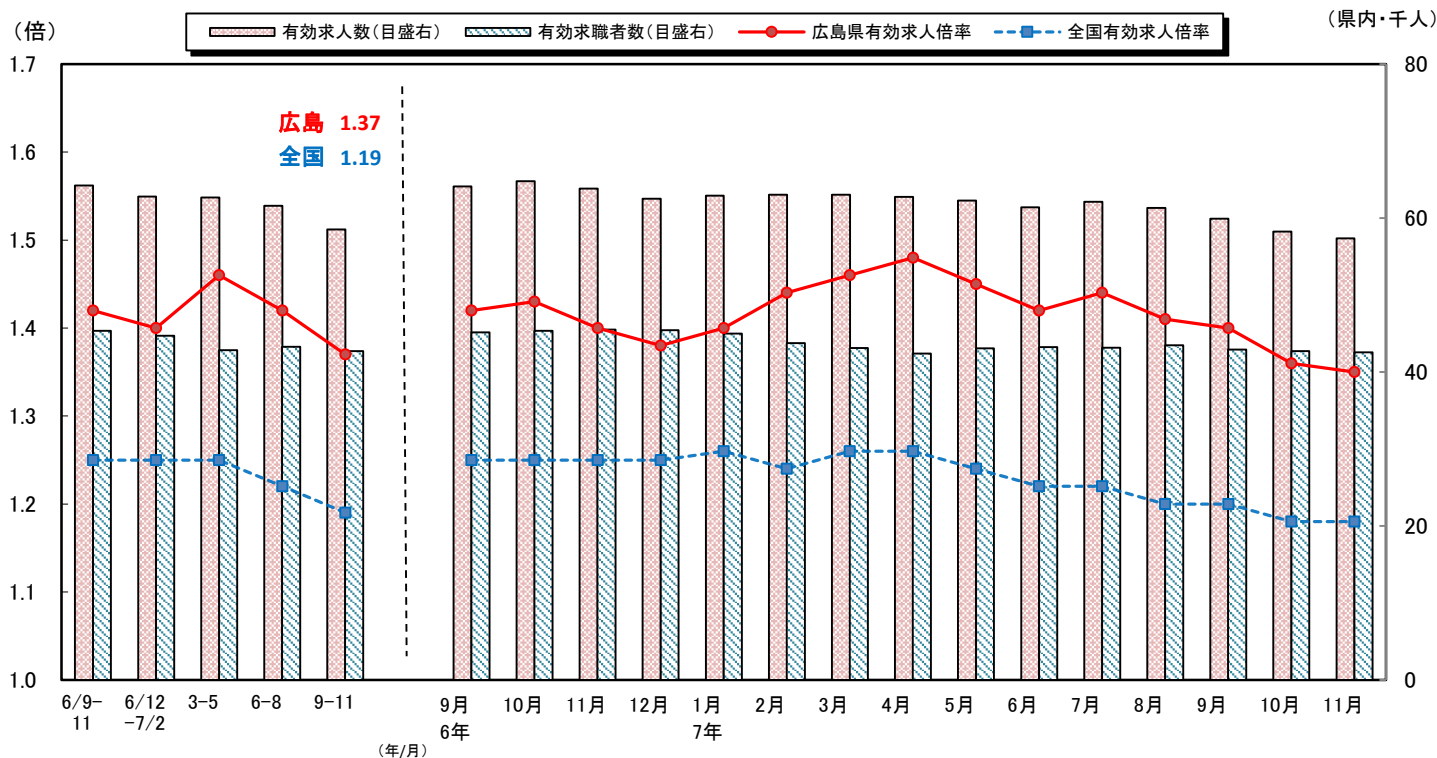
(資料出所: 広島県)



### 3. 雇 用 情 勢 緩やかに改善しつつある

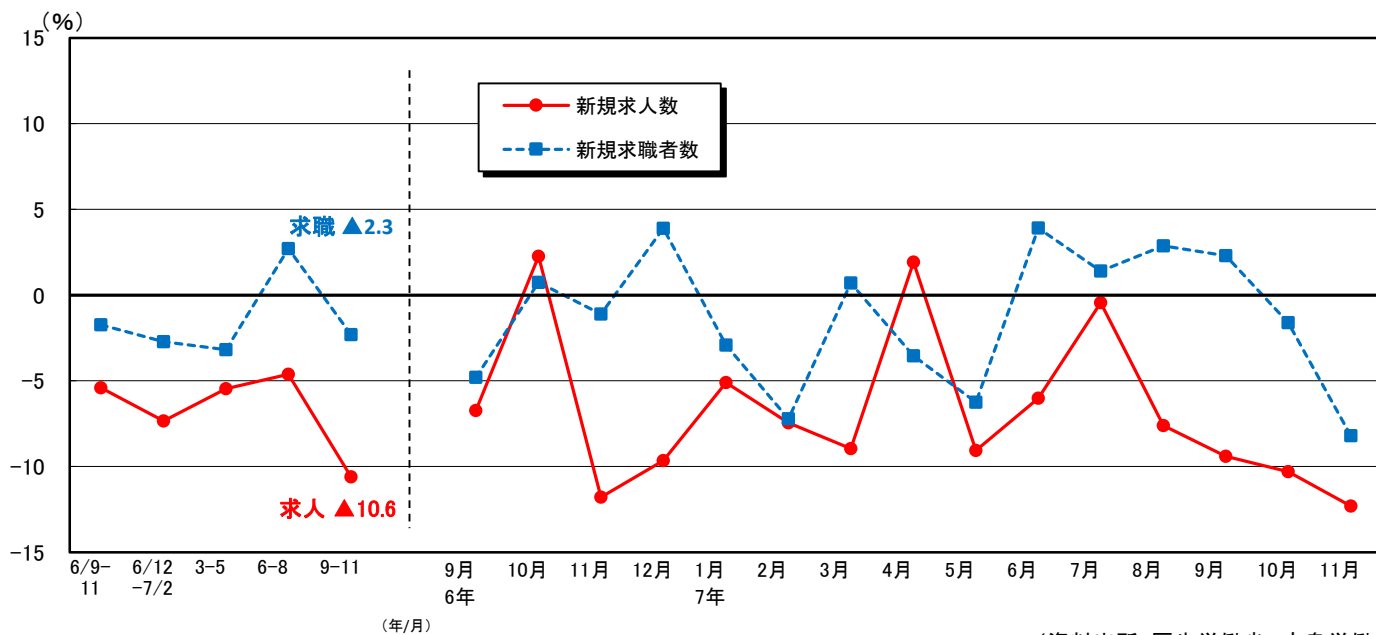
(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)

(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人数と有効求職者数は、1月あたりの平均。



(資料出所:厚生労働省、広島労働局)

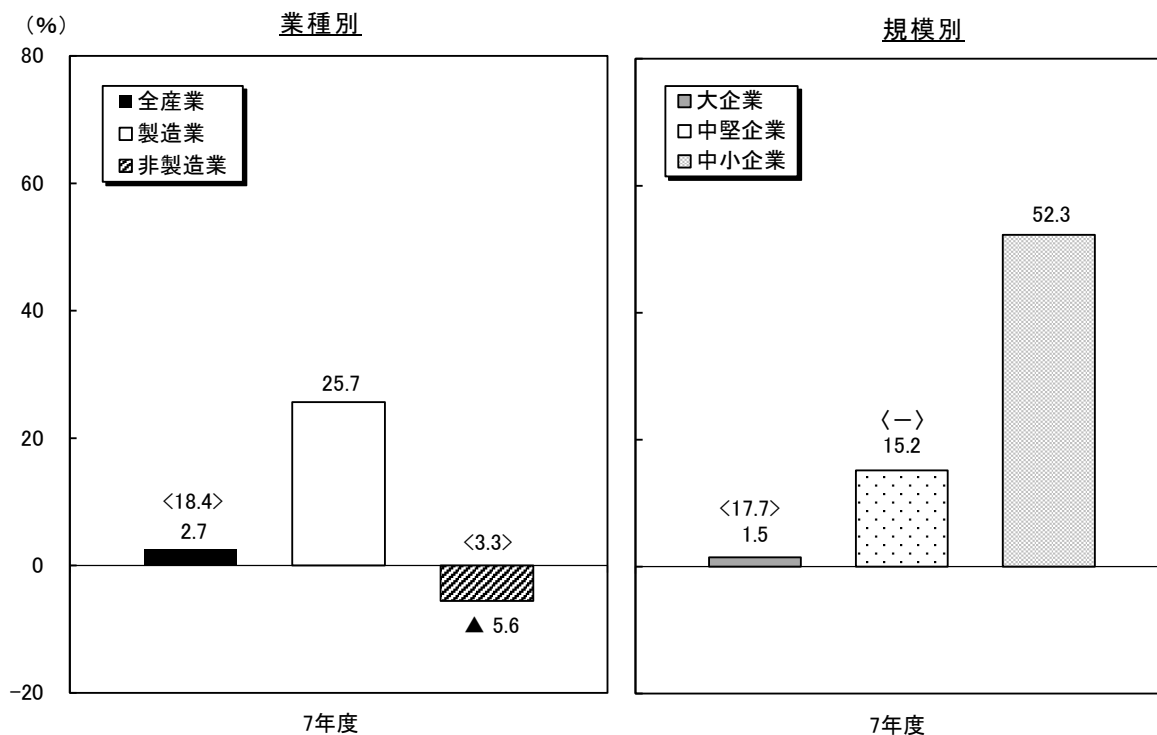
(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



(資料出所:厚生労働省、広島労働局)

#### 4. 設備投資 7年度は前年度を上回る見込み

設備投資額(前年度比)

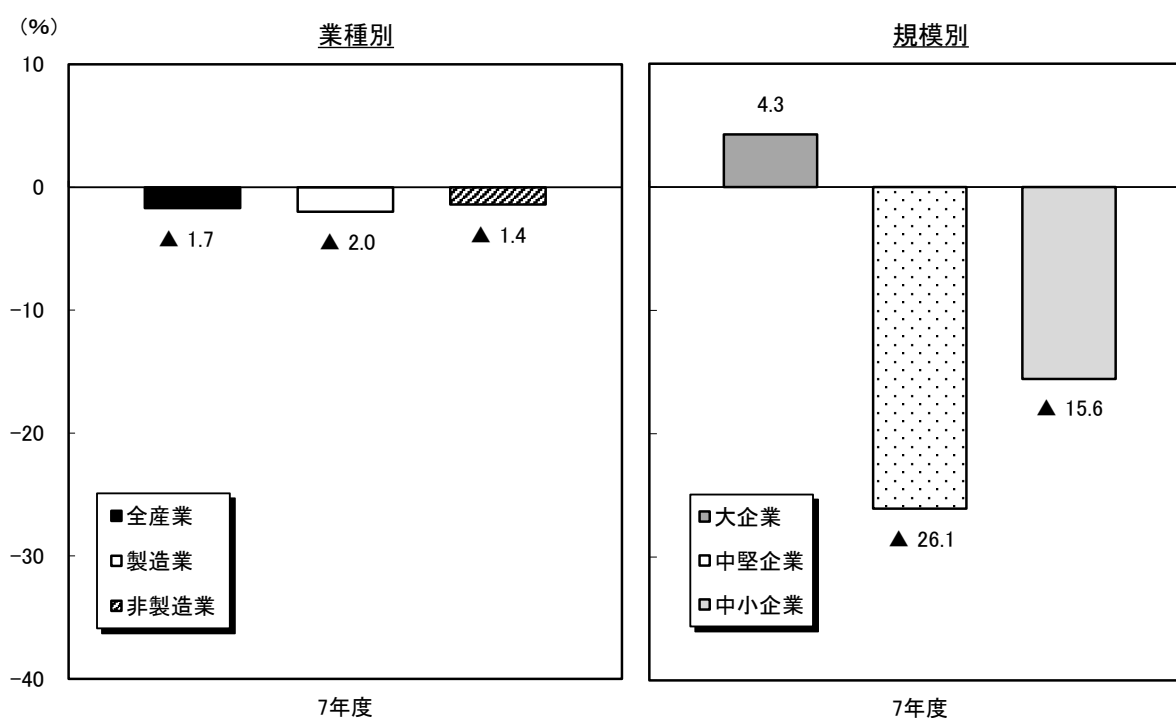


〈 〉書きは電気・ガス・水道業を除く前年度比

(資料出所: 中国財務局)

#### 5. 企業収益 7年度は減益見込み

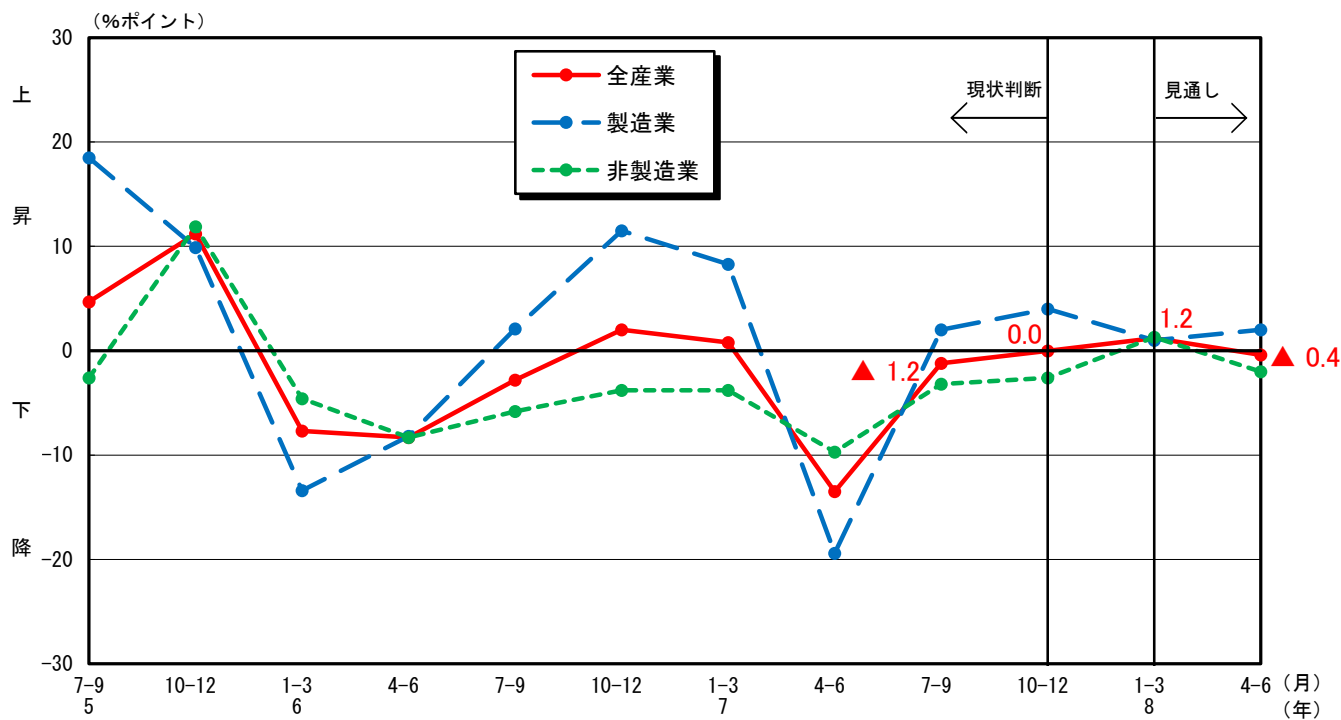
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く: 前年度比)



(資料出所: 中国財務局)

## 6. 企業の景況感 「上昇」と「下降」が拮抗している

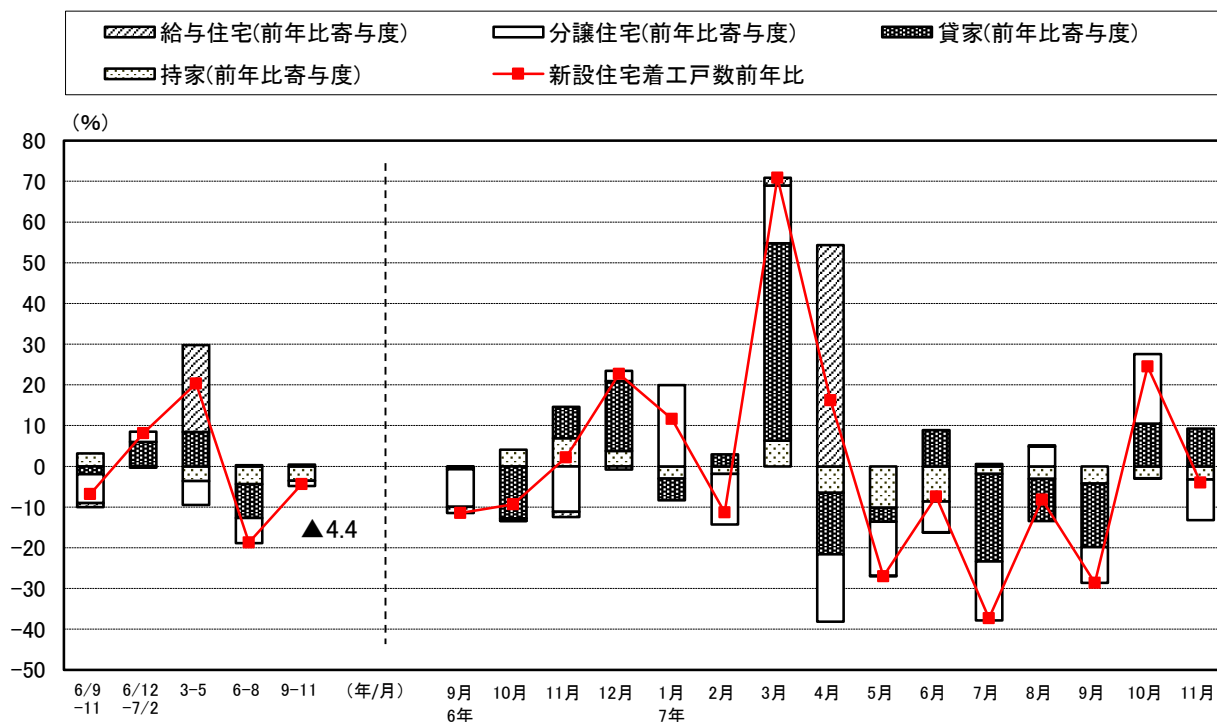
景況判断BSIの推移(原数値) (BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



(資料出所: 中国財務局)

## 7. 住宅建設 前年を下回る

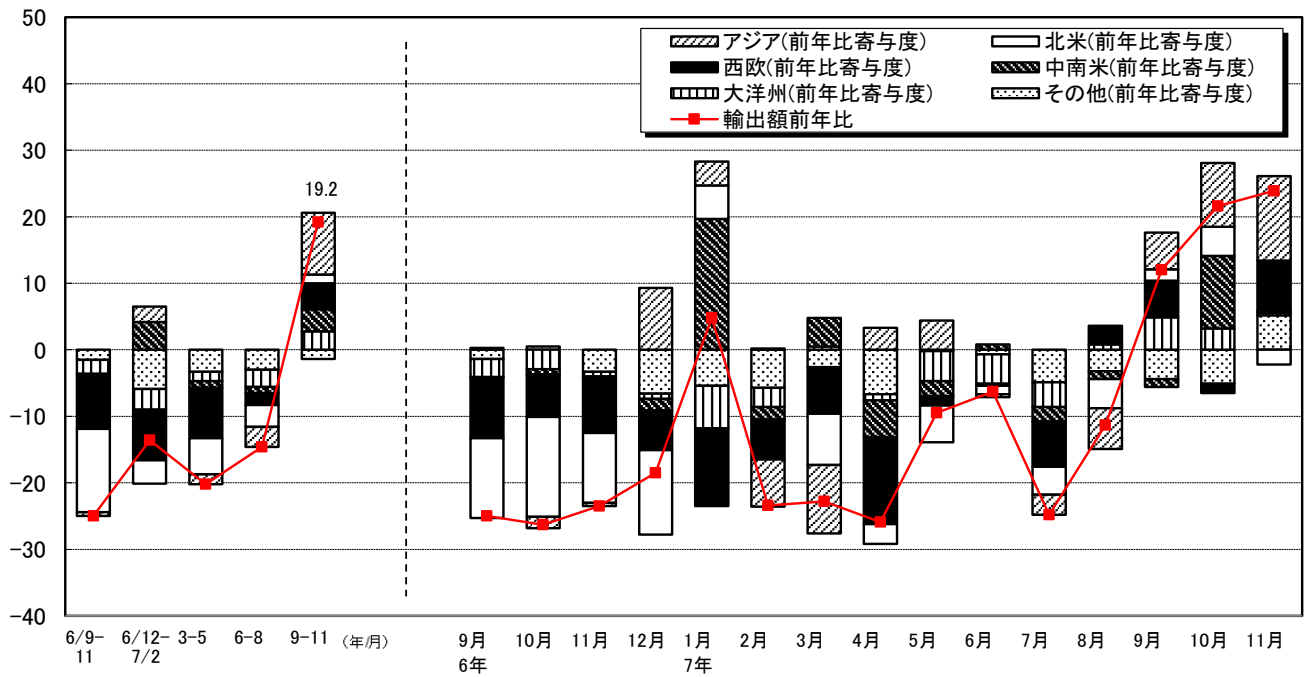
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

## 8. 輸出 前年を上回る

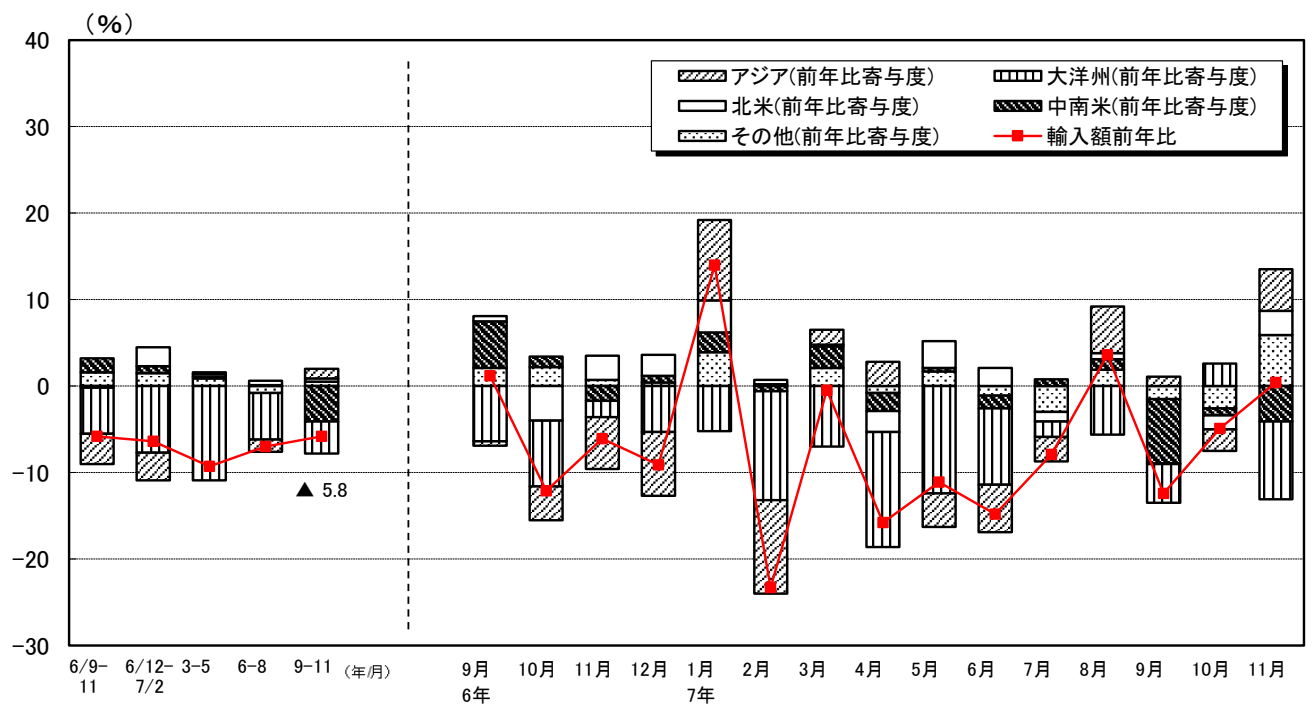
輸出(円ベース)  
(%)



(資料出所: 神戸税関)

### <参考>

輸入(円ベース)



(資料出所: 神戸税関)